

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「ハイドレンジアの微笑み」

テーマ：「明らかに化物なのに、意外と乙女な美少女」

キャラクター

40

ストーリー

40

テーマ(設定)

50

文章力

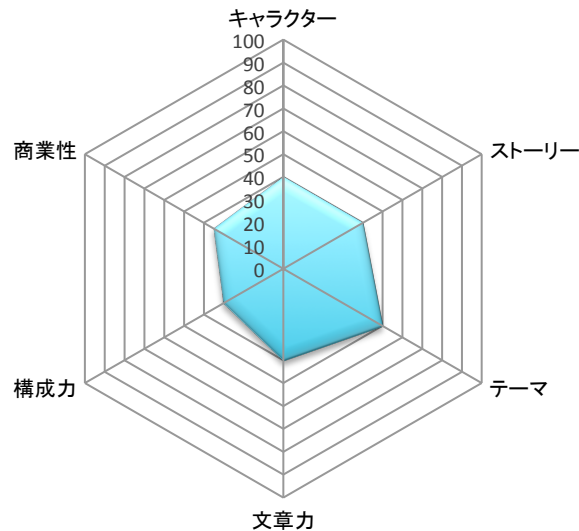
40

構成力

30

商業性

35



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・戦っているシーンとストーリーが進んでゆくシーンの割合がおかしい(戦っているシーンの説明が多過ぎてだるさを感じてしまう)。戦っているシーンを短くすると逆にスピード感が生まれるというメリットが得られることがあるため、あえて短く書くことを心がけるとよいかもしれない。

・「意外と乙女な美少女」と銘うっているが、さすがにグロイ描写が過ぎている。ただ美少女を敢えてグロくするという設定自体は非常に前衛的で面白いため、もう少し「ああ結構少女な面もあるなあ」と思わせられるような描写があれば良かった。また調べ屋といった設定はあまり過去例がなく非常に面白い。+2

合計加点ポイント：2

総得点： 235 / 600

B方式総合得点： 9404 点